

気温が氷点下になることも増えてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

アンガス・リード研究所及びカナダ・アジア太平洋財団が実施した世論調査（10月23日付。カナダ全体の数字。）によると、82%の回答者が日本について好意的な見方を有しており、また、79%の回答者が日本を良い貿易パートナーと見なしているとのことでした。他方で、日本について「多くを知っている／一定の知識はある」と答えた者は40%に止まっているとのことで、引き続き、当館としても、管轄地域に於いて日本の様々な側面を知って頂く努力を積み重ねて行く必要があると再認識しました。

出典：<https://angusreid.org/carney-asia-trade-apec-asean-korea-malaysia-singapore/>

本日は、当地に所在する国際民間航空機関（ICAO）に関する朗報からです。

●国際民間航空機関（ICAO）理事会議長選挙

11月26日、次期理事会議長選挙が行われ、我が国が擁立した大沼俊之 ICAO 日本政府代表部特命全権大使が選出されました。理事会議長は ICAO のトップであり、アジア・大洋州地域からの選出は同機関の約80年の歴史の中で初めてとなります。ICAO は、1944年に採択された国際民間航空条約に基づき国際民間航空の安全かつ秩序ある発達を目的として設立された国連の専門機関で、現在の加盟国は193か国です。

<https://www.icao.int/news/toshiyuki-onuma-japan-elected-president-icao-council>

●日本産酒類振興

10月9日、モントリオールを拠点とする北米最大級の国際的なワインコンクールである「Sélections Mondiales des Vins（以下 SMV）」の開催に伴い、「日本産酒類のマスタークラス」がケベック州立観光・ホテル専門学校（ITHQ）にて開催されました。当日は、SMV 審査員であるソムリエ、ワイン専門家、記者、醸造家等の専門家を対象に、カナダ人の日本酒の専門家3名の方から、それぞれの日本での経験を踏まえ、日本酒に関する講義が行われました。地理や地学の知識も総動員した専門的なプレゼンテーションの後、審査員の方々が、日本各地の酒を興味津々で味わっておられました。こうした機会は日本産酒類に対する理解と関心を広める貴重な機会であり、当館としても引き続き、和食とともにその普及に努めて参ります。



●映画祭 Le Festival du nouveau cinéma (FNC)

8－19日、今年で54回目となるLe Festival du nouveau cinéma (FNC)が開催され、期間中、9本の日本映画が上映されました。これまでもFNCでは多くの日本の作品が上映されたとのことです。

この機会に映画祭主催関係者や今回の映画祭に出品されている日本人の監督等関係者の方々と懇談しました。主催者によると、この映画祭は長い歴史を有する一方で、常に、新しいもの、新進気鋭の監督の作品を探しているとのことでした。映画は他国の文化について多くのことを教えてくれるため、日本映画の上映を通じてケベックにて日本理解が更に進むことを期待します。長らく映画祭を続けられているFNC関係者や、積極的に海外に打って出られている日本の映画制作関係者の皆様に敬意を表します。

●ケベック・日本ビジネスフォーラム (QJBF)

16日、QJBFの定例会が開かれ、今回は、ケベック州政府在日事務所マリオ・ジラル代表がゲストに迎えられました。同代表からは、投資先としての日本の大いなる可能性から、大阪万博でのカナダやケベック州による各種イベントの紹介まで、ケベック州の熱心な取り組みがよくわかるプレゼンテーションが行われました。ジラル代表の日本での活動にエールを送ります。



●茶道裏千家淡交会モントリオール協会に対する外務大臣表彰

19日、茶道裏千家淡交会モントリオール協会の年次総会の機会を捉え、同協会に対する令和7年度外務大臣表彰を行いました。同協会は、1981年に発足以降、40年以上に亘り、茶道を通じた日本の伝統文化の紹介・普及・理解促進に寄与しているほか、当地における後進の育成にも注力しており、日本とカナダとの相互理解及び友好親善の促進の功績により、この度、外務大臣表彰を受賞しました。同協会のこれまでの活動功績に敬意を表すると共に、心から祝意を表します。



●ケベック市出張

23—24日、ケベック市出張の際に、以下の方々とお会いすることができました。

・ケベック州国際関係省（MRIF）の主催するレセプションに出席し、ディオンヌ・ケベック州観光大臣らと懇談しました。また、上記のジラルル在日代表と、ここでも互いの活動や情勢認識について意見交換することができてとても有意義でした。このような機会を設けてくださった MRIF に感謝します。

・JET プログラム経験者であるアルスノー・ケベック州議会議員と面会し、日・ケベック経済・文化関係に関して有意義な意見交換を行いました。州議会にも、日本滞在経験のある我が国の友人がおられることに意を強くしました。

・ラヴァル大学にて、ダルボー副学長及びジュリノー副学長と面会し、同大学における日本語や日本の政治経済に関する講座、日本の大学との学術交流、ケベックにおける日本文化紹介等に関して有意義な意見交換を行いました。既に両国の教授レベルで種々のつながりがあるようですが、日本の大学との交流をさらに進めていきたいとの期待感を感じました。



アルスノー・ケベック州議会議員



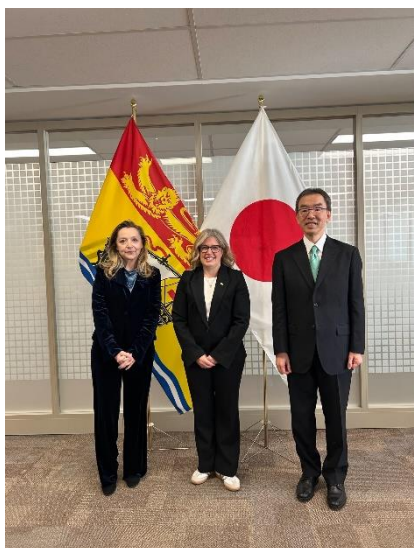
●ニューブランズウィック州公式訪問

10月29日から31日、ニューブランズウィック州への公式訪問が実現しました。

ルイズ・アンボー州副総督を表敬した他、スーザン・ホルト州首相、フランシーヌ・ランドリ州議会議長、ジョン・ヘロン州天然資源大臣、パット・フィニガン州農業・養殖・水産大臣、ルーク・ランドール州オポチュニティ NB 担当大臣兼経済開発・中小企業担当大臣兼 NB リカー担当大臣、ダン・ミルス州高等教育・職業訓練・労働省次官等と面会しました。各要人に邦人保護について改めてお願いするとともに、JET プログラムや国費留学生制度等についても紹介しました。その他、アカディア人の歴史を含むニューブランズウィック州の歴史について伺うと共に、水産資源や鉱物資源分野を含む日・ニューブランズウィック経済関係の現状と展望、同州大学における日本語教育等についてについて意見交換を行いました。



アンボー州副総督



ホルト州首相



ランドリ州議会議長



ヘロン州天然資源大臣



フィニガン州農業・養殖・水産
大臣



ランドール州オポチュニティ NB
担当大臣兼経済開発・中小企業
担当大臣兼 NB リカー担当大臣



ミルス州高等教育・職業訓練・
労働省次官

*上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などを行うことができ、大変有意義な1か月でした。

*本メッセージは仏・英語にても、メルマガ読者に配信しています。